

那須中央中学「防災教育」支援を実施 ～人命救助教育～



心肺蘇生法教育の様子



止血法教育の様子



固定法教育の様子

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井 1 陸尉）は、2月13日（木）、那須町立那須中央中学校において、学校が主催する防災教育を支援した。

「人命救助」というテーマに沿って、身近なものを用いた止血法及び固定法の要領の習得や、訓練用のAEDと人形を用いた心肺蘇生法の教育をクラス毎に実施した。本教育は、防災に対する意識を高めることで、いざというときに自分自身や仲間を守ることができるとして、知識、技能を習得することを目的としている。

教育が始まると、各クラスそれぞれのグループにて担当の自衛官から説明を受けながら、積極的に課題を受けていた。心肺蘇生のグループでは、一通り説明が終わる練習の時間になると、我先にと人形やAEDに向かい心肺蘇生に挑戦した。周囲で見学している生徒も「人工呼吸の空気がうまく入ってないよ!」とアドバイスをするなど、終始活気ある雰囲気だった。止血法を受講した生徒は、実際に出血しているという想定で速度を追求するグループもいて、練度の向上のために積極的に参加していた。ある生徒は「これは役に立つと思う。いざという時に身を守る技術が身につけてよかった」と笑みをこぼしていた。固定法のグループでは、慣れないロープの扱いに最初は手間取っていたが、自衛官のアドバイスを受けると、みるみる上達し「今日一日でいろんなことが学べた。自衛官って何でも知っていてすごいですね」と語っていた。

大田原地域事務所は、「今後も、引き続き多くの学校との連携及び信頼関係を強化し、「地域密着型」の広報で邁進していく」としている。



心肺蘇生法体験の様子



止血法体験の様子



固定法体験の様子